

※ご使用前にこの説明書を良くお読みになり十分に理解してください。

1/12～8 スケール RCカー用

# フォーミュラ ジャイロ

取扱説明書

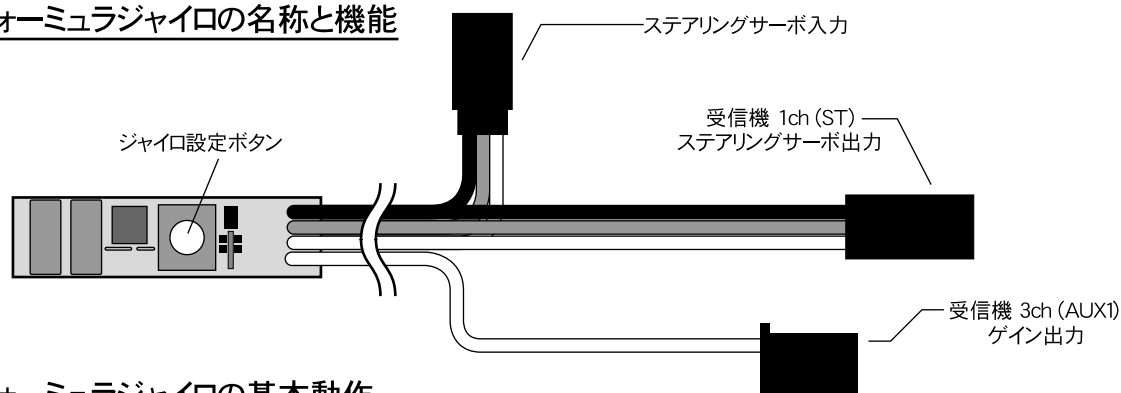
No.R246-8831

フォーミュラジャイロは各社カー用3チャンネルプロポにてご使用頂けます。但し、3チャンネルの操作が、細かく調整出来るボタン式またはダイヤル式の物に限ります。3チャンネルがON-OFFの切り替えのみのタイプでのご使用は出来ません。通常車を走行させるにはステアリング・スロットルの2チャンネルだけ使用してりますが、フォーミュラジャイロではジャイロシステム(以下ゲイン)の効き具合を調整する為に3チャンネルの機能があるプロポが必要です、お手持ちのプロポ取扱説明書等をご確認ください。

ジャイロ調整時には必ず車体を水平にして行ってください。送信機やサーボによって一部使用出来ないシステム等もございます。(SANWAのSSRモードは使用出来ません。SHRモードでご使用ください。)

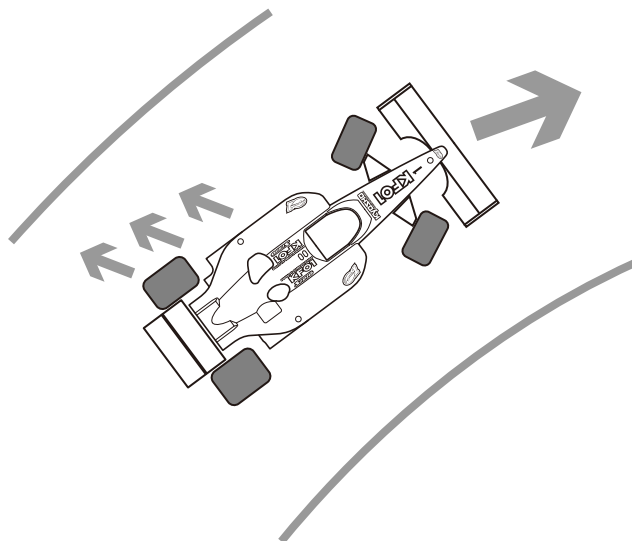
受信機電池の消耗も若干多くなります。ステアリングスピードやEXP(エキスポネンシャル)等を操作した際にも反応などが変化する場合がございます。また、ゲインを高くすると舵角が減ります。対策としては、予めD/Rを低めにしたままフル舵角になるようEPAを調整すると良いでしょう。

## フォーミュラジャイロの名称と機能



## フォーミュラジャイロの基本動作

右コーナリング時、テールが左方向へ滑り出していく場合。  
ジャイロが反応して自動でカウンターステアをあて補正を行う。

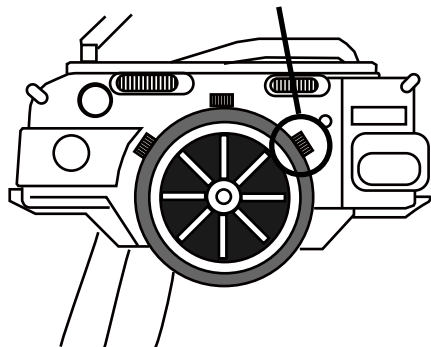


**1****送信機の調整**

1. 3チャンネルを操作するボタンまたはダイヤルを設定する。
2. 3チャンネルを初期設定する。(トリムがずれていると正しく機能しません。)

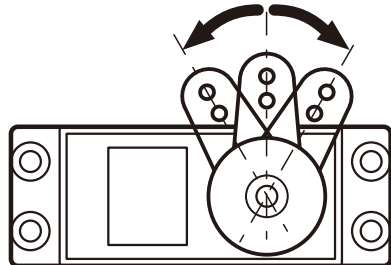
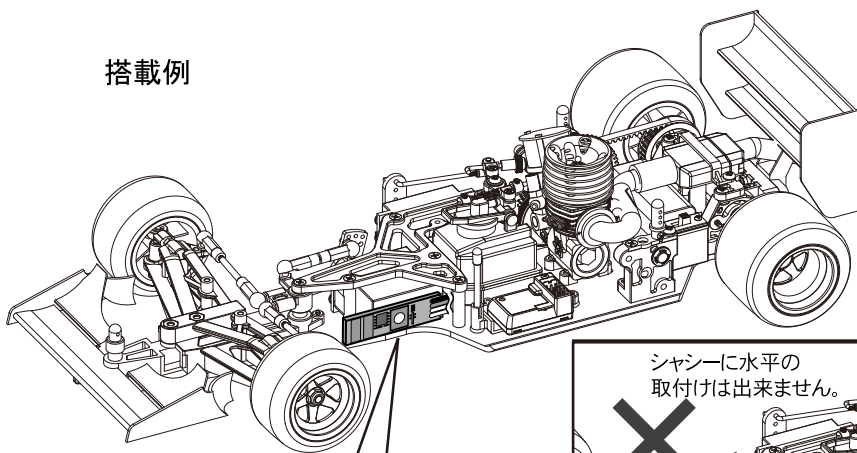
- ※ 3チャンネルの位置は右図のポジションをお薦め致します。走行中にゲインの操作が容易です。
- ※ 送信機の設定は送信機の取説をご覧ください。

3チャンネルはこのポジションを推奨。

**2****ステアリングサーボ切れ角の調整**

1. ステアリングサーボコネクターを受信機の3チャンネルに挿す。
2. 送信機 (3CH・AUX) のスイッチをONにして送信機の設定したボタンまたはダイヤルで3チャンネルを0%にする。
3. 受信機のスイッチをONにする。
4. 送信機のゲインは0を基準にプラス・マイナスそれぞれ30度の範囲で作動するように調整する。
5. 調整幅いっぱいまで30度まで動かない場合は3チャンネルのバランス調整 (EPA・ATVなど) を増やす。
6. 調整が完了したら受信機からコネクターを外す。

30° 30°

**搭載例**

シャシーに水平の取付けは出来ません。

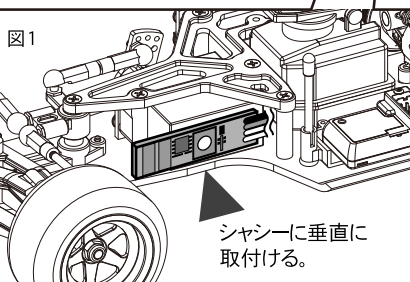


図1

シャシーに垂直に取付ける。

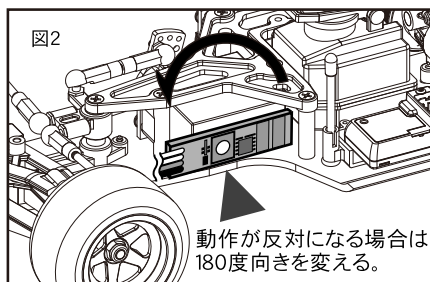


図2

動作が反対になる場合は180度向きを変える。

### 3

#### 車体への取付

1. ステアリングサーボコネクタをフォーミュラジャイロ本体の入力コネクタに挿し込む。
2. 受信機のステアリング入力 (ST または CH1) にフォーミュラジャイロから出ているステアリング出力コネクタを3チャンネル (AUX1 または CH3) に、ゲイン出力コネクタをすれぞれ挿し込む。

フォーミュラジャイロ本体を取付ける際には下記に注意する。

- ジャイロには向きがあります。ジャイロ本体を仮止めし、送信機の3チャンネルのゲインを最大値にしてからカウンターステアが切れる状態を確認する。逆に動作する場合は、1ページのフォーミュラジャイロの基本動作を参照し、図2を参照して180度反転して取付ける。
- ジャイロ本体は水平に取付ける。
- 発熱する部分から遠ざける。
- 振動で壊れたり剥れたりしないようにスポンジ系の両面テープでしっかり固定する。

### 4

#### フォーミュラジャイロの設定

1. 送信機のスイッチをONにしてゲイン調整用に設定したボタンやダイヤルを最大値(+100%)にする。
2. フォーミュラジャイロのボタンを押したまま受信機の電源をれ送信機のゲイン調整用に設定したボタンやダイヤルを最小値にしフォーミュラジャイロのボタンを離して受信機のスイッチを切る。  
これで送信機側で操作出来るゲイン範囲量の調整は終了です。

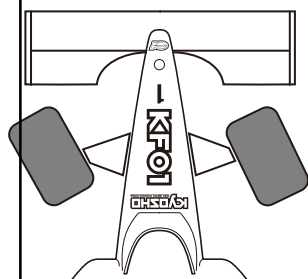
#### 注意

送信機のゲイン調整を最小値0% (FUTABAは-100%) の時に、車体を左右に揺らしてステアリングがカウンターをあてる動作をしてしまう場合は設定が正しく出来ておりません。再度調整を行ってください。

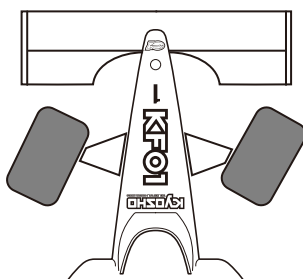
### 5

#### ステアリング左右最大切れ角の調整

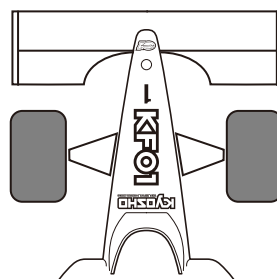
1. 送信機の蛇角 (D/R) を最大値にする。(150%まで調整出来る機種は100%にする。)
2. ゲイン調整を最小値0%にした状態で左右のバランス (ATV または EPA) を調整後、ゲイン調整を最大値にして受信機のスイッチを入れる。
3. 車体を静止状態でフォーミュラジャイロの設定ボタンを長押しする。(押し続ける)  
(この間はゲインキャンセルが効く為、ステアリングが動いてしまうと正常に設定できません。)
4. 約5秒後に送信機のステアリングを左右にきり、ニュートラルに戻した状態でボタンを離す。  
(左右どちらからでも構いません。)



送信機のステアリング操作を左へ



送信機のステアリング操作を右へ



送信機のステアリングをニュートラルに戻して電源を切ります。

#### 注意

この状態で左右の切れ角が大幅に違う場合は調整が正常に出来ておりません。再度調整してください。

## 6

**ステアリングニュートラルの調整**

1. 送信機でゲイン調整を最小値0%にし、車体を水平な状態にしてステアリング操作をせず、フォーミュラジャイロの設定ボタンを短く1回押す。(フォーミュラジャイロがニュートラルを記憶します。)
2. 車体がまっすぐに走るようにトリムを調整する。
3. 設定ボタンを1回押す。(設定が確定されます。)

**注意**

車体を持ちながら設定すると、僅かなブレも感知して正常に動作しない場合があります。

**ワンポイントアドバイス!**

送信機によって3チャンネルを操作する役割が出来るボタンやダイヤルを1回動かした際の動作量が調整出来ます。最初は1コマで10%位作動するように設定しましょう。大体のセッティングが出たらボタンやダイヤルを1回動かした際の動作量を細くなるように調整します。そしてゲイン0% (Futabaは-100%) から走行し少しずつゲインを上げて行きます。直線で蛇行しないで小さなコーナーで切れ角が不足しないようにするのが効果的です。グリップが良い場合はゲインを下げ、グリップが悪い場合はゲインを上げます。但し上げすぎるとストレートで蛇行したり小さなコーナーで曲がらない場合がありますので注意しましょう。あらかじめD/R(ATV)を上げられるようにしておくとう便利です。

調整によって車体がアンダーステアになる場合がございます。この場合はセッティングで曲がるように調整していくと良いとでしょう。

ジャイロは直進性を向上させたりテールスライド防止の補助が目的ですである程度ジャイロが無い状態でも巻かずに走れるように車体をセッティングしてください。

**ご購入前にお読みください。**

本製品(フォーミュラジャイロ)は中・上級者向けです。ある程度のRCカーの経験及び知識が必要になります。為初心者にはお薦めできません。

各社カー用3チャンネル送信機にてご使用頂けます。但し、3チャンネル操作が、細かく調整出来るボタン式、または、ダイヤル式の物に限ります。3チャンネルがON-OFFの切り替えのみのタイプでのご使用は出来ませんのでご注意ください。

市販の2チャンネル仕様と異なり、フォーミュラジャイロはジャイロシステム(以下ゲイン)の効き具合を3チャンネル機能を使い遠隔操作によるゲイン調整が可能です。

お手持ちの送信機の取扱説明書をお読みになり、適合をご確認の上、ご購入してください。

No.R246-8831-T01



発売元: 京商株式会社

〒243-0034 神奈川県厚木市船子153

●ユーザー相談室直通電話 046-229-4115

お問い合わせは: 月曜～金曜(祝祭日を除く) 13:00～19:00

メーカー指定の純正部品を使用し、安全にR/Cを楽しみましょう。

ROUTE 246 ホームページ  
www.rc-r246.com

※製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

PRINTED IN JAPAN

32221108-1

\*SPECIFICATIONS ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE.  
© Copyright 2011 KYOSHO CORPORATION / 禁無断転載複製